

マレーシアに 行ってきた



いもねえさん

だれと行くか

34歳も年下の男の子と行くんだー、と言ったら、えーっステキね！

いえいえ、次男ですよ。

ますますステキじゃない。。。

絶対にイヤだ、ありえない、と思うらしいが、そこら辺の抵抗は全くない。

15歳で家を離れ寮に入って生活したので、10年ぶり。会うのも3年ぶりぐらい。

息子の何がイヤなの、どっちがイヤなのかよくわからない、何に抵抗があるのかわからない。

私の姉も妹も、感謝しんさいよ、と。何に？まあ、感謝するでしょう。

実は、動悸もひどく上京すら自信がない日々。

でもパスポートをとったものの使わずに人生を終了したくなかった。

これからの人生、年々、確実に何かを失っていくのだ。

彼は身長がある。このところ海外一人旅をしているし、用心棒にはなる。大きいことも良いことはあるものだ。

東南アジアの人々はそんなに身体が大きくはない。

米国やヨーロッパの人と比べても彼は同等だ。

ただ私とは歩幅が違う。

3日でトラブル発生ですよ、勝手にしろと置いていかれるよ、という声もあったが、残念でした、トラブルありませーん。

フレンドリーでした♪

私は、35年ぶりの異国。嬉しかったー。疲れがとれた今は楽しかったなあ。。。と。

予算はこんな感じね。

立ててくれた予算の概況は、2人分で

- 飛行機 8万
- ホテル 7万（キャメロンハイランド4泊、クアラルンプール2泊）
- 現地交通費 1.5万
- 食費 1.5万
- 観光費 0.5万

合計18万円強というものだった。

実際には、もっとかかったのかもしれないけれど、それでも安い！

A i r A s i aという格安航空機を使ったという。その分ホテルは五つ星ホテル。

日曜日の夜出発、日曜日の夜中到着の1週間。

羽田発着というのが嬉しかった。何しろ私は八丈島から羽田まで飛行機で行くのだから。

クアラルンプールで2万円を両替して、おみやげを含めほとんどまかなえた。

彼が食事で一度キャッシュカードで支払い、最後は何千円か両替していたけど。

現地の物価は驚きの安さだった。

現地では思った以上にお金を使わなかった。

いつ行くか

決定は早かったね。

私はパートなので、次の月の予定は15日ぐらいまでに出せばよい。

パートの気楽なところだ。

パートの身分を有利に利用しなきゃ。賃金はこの際、いいの。仕事しないんだもの、なくて当然。

その旨を彼に伝えたら、早かったね。その日のうちだった。

A i r A s i aの2割引キャンペーン、今日までだから返事くれと。

OKそれにするわ。即答だ。

夜、パスポート番号やら、機内食は何にするかとか、チャットでやりとり。

格安航空は、手荷物にも機内食にも料金がかかる。はぶけるところは、はぶくんだね。

だいたい何キロの手荷物になるか体重計に乗って測ってみたり大忙し。

こんな離島で、一人暮らしの私がチャットでやりとりできてるのがスゴイ！

汗をかきかき、終了したのは夜11時過ぎていた。カレンダーに太い赤線で←マレーシア→と。

ワクワク、ドキドキ。

10月の中旬に決定！

情報を得る

早速情報集めだ。

図書館に行ってみた。5年位前の本しかない。ダメだこりゃあ。

ロングステイの本、何か違う、ゴルフをしたい訳ではない、だいたいゴルフやゲートボールに興味がない。

本屋、マレーシアは、ない！

アマゾンでなら本が買えるけれど、パラパラとみてみたいし、、、

結局、ネットだ。一番新しかったり、行った人のブログなんかが参考になるもんだ。

正反対の感想もあってなかなか面白いね。

マレーシアに行った友人。

水だけはダメよ、氷も。

高温多湿でここと似てるよ。暑いよ。

私が行くのは、日本で言う軽井沢のような避暑地みたいな所。キャメロンハイランド。

高速道路を降りてからはS字カーブの連続で車に弱い人は酔い止めを持参が良い、と。

酔い止めと、セイロガンは必携だなど。そしてそれは大正解だった。

毎晩ファッションショーをしたものの、、、

行く前は、毎晩ファッションショーをした。

暑い所だからな〜とか、日焼けしないためには長袖も、とか少しは目立つ色でないと、とか。

私を見失わないように、とっても目立つピンクの持ち歩き用のバック、それも突然のスコールにぬれても色が変わらない合皮のバックをセシールで買った。

なかなか持たない色、でも大好き。

いやいや、現地の方の派手さにはどうやっても及ばなかった。

クアラルンプールに到着した時にそう思った。

当然異国だ。多民族ではあるがイスラム教徒が多く、女性は肌の露出を避ける。

顔しか出ていない。眼だけしか出ていない人も。

そして日本で言うなら和服だな。長袖、ロングスカート。暑そうだな〜。でも1年中この気候の中でこの服装なんだから慣れてるんだろう。

とっても派手な色合い、大きな華やかな柄ではあるが、厳粛な気分になってしまう。

華やかで明るくて熱帯を感じた。

男性の服装はほとんどとっていいほど印象にない。

シャツ出しだな。

ちょっとブルーに

だんだん近づいてきた。
なんか体調がいまいちだ。

毎日精神安定剤をのまないとおさまらない。
仕事は普通にやるものの、家に帰ってから、気持ちがブルーになるんだなー。
無事に帰って来れるのかなあ。
書置きは必要かなあ。
苗だけは植えておかないと、部屋の中ではダメだ、でも鍬がもてるかなあ、、、

ちょっと上京してきます、とだけ。
知人は、私も上京なんです、人間ドックなんですよ。

私の飛行機、東京での宿泊予約はネットで

さあ、どんどん動き出さねば。

羽田までの往復航空券、それから夜中に戻ってくるので、羽田の東横インに予約だな。

国際空港ターミナルへは東横インの送迎バスが出ているので、楽チンだ。

翌日は、又送迎バスを使って羽田へ行けばいいのだから。

ネットで全部できるなんて。還暦をすぎた私でも何とかここら辺まではできる。

でも、わからなくなったら、すぐに息子に聞きまくる。

ネットができるとできないとでは、行動にどれだけ制限がかかるだろう。

ネット環境がある時代の人には、こんなことはスイスイだろうけれど、

ここまで追いつくのが私には精一杯だ。

ハードには動かない、おみやげツアーもイヤ

マレーシア行きはツアーではない自由な個人旅行だった。
往復の飛行機とホテルだけを予約しておいてくれた。

持病持ちで体力的にあんまり自信がない中でも行こうとする訳だから、自由に動けた方が良い。
今日はキツイと思えば、のんびり過ごす。

ゆっくり見たいと思えばゆっくりする。

こんな旅なら最高だ。

もっとも私一人では行けるはずもない、大きな体格の用心棒の息子がついていてくれたからだ。
動き方もわからない。

その点は感謝しなければ。

東京で本屋で立ち読みしたマレーシアの雑誌は、おみやげと食べ物屋さんばかりが、これでもかと載っていた。

免税店がどうのこうのとか。

おみやげは、もうネットで調べて決めていた。

ツアーっていうのはおみやげ屋さん立ち寄るもんね。

羽田第二ターミナルの本屋さんで、読めそうな「わがまま歩きマレーシア」を買った。
何にもないというのはあまりにも行動のしようがないもの。

羽田国際線ターミナルのロビーに座っていたら、若い女性4人が向かいに座った。

靴をサンダルに履き替えたりしていたから、同じマレーシアかなあと思ったりした。

大きなカバンを開けていたけれど、中身はかなりガラガラ状態。

見て見て、と。きっといっぱい買い物をするんだろうな、買い物に行くのかな。

治安がやっぱり一番かなあ

お金とかパスポートはしっかり身につけておかないとダメよ、と聞いた。
ただマレーシアは治安がいいと、どの本にも書いてある。

マレーシアは多民族、多教徒の国で、イスラム教徒が多く女性は肌を露出しない。
エロ本の持込もダメと。タバコ、お酒も好まれないとも書いてあった。
先日は日本人女性がマレーシアに麻薬を持ち込んだとして死刑判決を受けたとニュースにあった。

。死刑。。。

治安がいいのはやっぱり安心。
私は一人では歩かないけれど。

一人で山道を歩いていたバックパッカーの白人の若い女性がいた。
タンクトップにショートパンツ。
いくら治安がいいとはいえ気をつけないとね。

トロピカルフルーツが魅力？

トロピカルフルーツ、いっぱい食べてくるからね！
と言って出かけた。

う～ん。。。

パイナップルはおいしかった。

バナナを油で揚げなくてもいいじゃない、、、道端で揚げているんだけど、その油くささで買う
気になれなかった。

それともまだ甘くないバナナなのかな？

スイカは1年中できるみたいだけど、いまいち。

パパイヤはまあ、、、あんなもんかな。

ドリアンは独特の臭い、息子はプロパンガスの臭いと言っていた。

何というか、今や日本でどれも食べられるんだよね。

しかも、マンゴーなんかは日本の方がおいしい。

いや、日本でできるものはすべて日本の方が圧倒的においしい、ということがわかった。

キャメロットハイランドへ向かう途中の休憩所でカットしてある果物を売っていた。

what is this? これぐらいなら私にも言える。

フワフワ。フワフワ？形からしてグアバ？yes!

3センチ角ぐらいにカットしてある、皮つき。

八丈島の我が家にはカットするほどには大きくないけれど甘いグアバがたわわになっていて、家
に入る度に口に入れては種と皮をピュッと飛ばす。やわらかいし甘い。

ま、大きなグアバも見たことはある。

砂糖と塩が横に置いてあった。

砂糖をかけてバスにもどる。ギャジギャジの味なし。ほとんど大根、いや大根の方がやわらかい
。

半分以上残した。前の座席の外人はポリポリ、カリカリ結局全部食べていた。

キャメロットハイランドのホテルでは朝食にオレンジジュース？メロンジュース？と聞いてオシ
ャレなコップに注いでくれた。生ジュースだ。メロンジュースとは、すなわちスイカジュースの
ことだった。

スイカを半分に切ってスプーンでほじくって食べた後の汁、アレだ。

青りんごがあったなあ。小さい。ホテルの部屋に置いてあったけれど、香りはないし、でも切っ
てむいてみた。

ギャジギャジで青くさい。これ早くもぎすぎじゃない？

いや、そもそもなんでこんな暑い所でりんご作るわけ？店にもあったけど。

日本のりんごがいかにも美味しいか、だね。

いざ、出発！

私にとっては35年ぶりぐらいの外国だ。

えっ、出国ってこんなにかんたんだったっけ？

ほとんど記憶にないくらいだ。羽田から八丈島に帰るぐらいのかんたんさ。

チケットを機械に読ませてピピッと通ると、係員の方がパスポートを開いて確認するぐらいの違いかなあ。

それとも全部息子がやってくれたのかなあ。。。。

あとは乗るだけという時、小さな本屋があった。

本なんて読むかなあと思いつつ、私は東野圭吾の文庫本、彼は学問のススメ。1万円札さんだ。

これから7時間の飛行だ。23時45分発。

息子と席が離れていたけれど、しばらくして隣があいているからこっちに来たら？と。

何とやさしい。私と話していたら隣のおばさんが、背が高いから外人さんだとばかり思っていたと。

機内は寒いと聞いていて長袖をもっていたけれど、その寒さなるや半端ではなかった。

何話かわからないが説明の後、日本語での説明があった。

夜間のため機内を暗くします、と言って暗くしたが、10分後に明るくして、入国に必要なカードに記入して下さい、と。

書き終えたぐらいに、今度こそ真面目に暗くした。

寒くて眠れない。みんな服を出し始めた。前の座席の外人は皮コートにポーがついていたのを着ていた。フードをかぶっている人も。何でこんなに冷やすんだろ。毛布は有料、でもまわってこなかった。

だんだん耳が痛くなる。高度を下げていると。

45分早く到着しましたとアナウンス。

飛行機を降りたら、もうまったくバラバラに散らかったように歩く。すぐ隣を荷物を積んだ車がけっこうなスピードで走る。エンジン音がうるさい、あんなにうるさい車は、日本では故障か、わざと音を出す車だろう。

送迎バスなし。早い人ははるか彼方を歩いている。あんなとこまで歩くんだー。

まあ、羽田空港でも八丈島行きは一番端っこ。あのくらいは歩く。外か中かの違いぐらいだ。

これが格安なんだよ、と。でもいいじゃない。歩くと足のむくみもとれるよ、ちょっと動かしたいよ。

日本人は並んで歩くというが、帰りは日本人が多かったのか、線に沿うように整然と並んで歩い

ていたなあ。。。

帰りは向かい風で45分遅れて到着。日本との時差1時間。

時間は目安でしかない、と息子。